

● 子どもは、強くて勇気ある人が好き
意志の強い子は、どうして反抗
することが好きなのでしょうか。
単純に言えば、子どもは、強くて
勇気ある人が好きだからです。親
の決意の固さを試すだけのために
命令に背くことがあります。なぜか?
それは、「だれが一番強いか」が
気になるからです。ロビン・フッド、
ターザン、スパイダーマン、スー
バーマンなどのヒーローが子ども
の人気を呼ぶのも同じことです。「う
ちのパパは、おまえんちのパパを
ぶんなぐれるぞ」などと、子ども
は自慢します（そう言わせてある
子は、「へんだ。うちのママだつて、
うちのパパぐらいぶんなぐっちゃ
うもんね～だ！」と言ったとか）。
引つ越したり転校したりすると、

場できちんと対応しておかないと
何度も同じことをされます。幼子
さえ、実に巧みに挑戦して来ます。
※※※※※※
ある父親が、三歳の娘を連れて
バスケットボールの観戦に出かけ
ました。言うまでもなくこの子は、
体育館で見るものすべてに興味津々
で、試合などはそつちのけ。父親
は娘に、自由に歩き回っていいし、
観覧席のほうに昇つてもいいが、
ここからはだめという境界線を決
めました。手を取つて体育館の床
に線がひいてあるところまで連れ
て行つて、言い聞かせました。

「いいかいジェイニー、この建
物のどこで遊んでもいいけどね、
この線から向こうに行っちゃだめ
だよ」

で見せたアダムとエバの愚かさと
そんなにちがいはありません。神
さまは仰せられました。「あなた
は園のどの木からでも思いのまま
食べてよい。しかし、善惡の知識
の木からはとつて食べてはならない」
(「この線を越えたらいけ
ないよ」)
しかしアダム
とエバは、
あえて神
に逆らい、
全能者の
権威を試
したのです。

自分の意志を押し通す
傾向こそ、おそらく以後の人類に
浸透して行つた罪の本質です。な
ぜそれを私が強調するかと言えば、

An illustration showing the lower half of a person's body from the waist down. They are wearing black shorts, grey socks, and black shoes. The background is white.

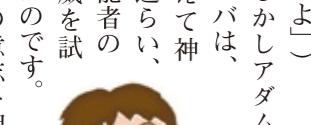
かについては、あとでふれましょう。
本書の目的は、親たちが自信を持つて子育てができるよう助けることです。具体的には、独立心旺盛で手のかかる子をどうしつけるかです。ここでは、「子育てをりっぱに果たした報いは、そのため流した血と汗と涙に十分値する」と述べるにとどめておきましょう。わが家の成人した一人の子らを見ていると、どんなこの世的な業績にも代えられない満足感を私は覚えます。

子どもは新しい所で自分の地位を確保するために、口先か腕力で戦わなくてはなりません。子どもは強くて勇気のある人を重んじるものなので、新しいリーダーがどれほど強いかを試したいと思います。ですから、あなたが親であれ、祖父母であれ、ボイスカウトやカブスカウトのリーダー、または学校の教師であれ、あなたの責任のもとにある子は、遅かれ早かれあなたに挑戦します。自分なりに「本気かどうか見せてもらおうじゃないの」と言つてくるのです。その場できちんと対応しておかないと何度も同じことをされます。幼子さえ、実際に巧みに挑戦して来ます。

父親が席に戻るやいなや、三歳児は教えられたばかりの「立ち入り禁止区域」へとちょこちょこ走り、境界線ギリギリで立ち止まり、それから父親を振り返り、肩ごしに歯を見せて笑ってみせ、その線の向こうにわざと片足を踏み入れたのです。あたかも「パパ、どうする？」と言っているようでした。親なら、だれでも覚えがあるでしょう。

人はみなこの子と同じで、わがままな反抗をする傾向があります。この子がしたことは、エデンの園で見せたアダムとエバの愚かさとそなにちがいはありません。神さまは仰せられました。「あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善惡の知識の木からはとつて食べてはならない」（「この線を越えたらいけないよ」）

しかしアダムとエバは、あえて神に逆らい、全能者の権威を試したのです。



A detailed illustration of a person's lower body from the waist down. The person is wearing black shorts with a visible zipper and belt loops, white knee-high socks, and black lace-up shoes. The background is plain white.

子ども時代のうちにこの「わざと反抗する」という問題に親が適切に対応しなければ、当人がのちのちつらい目にあうことになるからです。その時期に根ざす雑草が、悩み多い思春期には、いばらのはびこる広大な荒れ地を生んでします。

* * * * *

元大統領のフランクリン・ルーズベルトは、まちがいなく意志の強い子どもで、意志の強い大人になりました。少年時代、彼は階段の上の見えないところにひもを張りました。予想通り夕食を運んできた召使がまんまとつまずき、見れるも無惨に階段を転げ落ちました。罰として何をされたかは、記録に残っていません。しかし、フランクリンは友だちの中でも親分肌で、何についても負けすぎりだったとか。ある時、友だちに対する態度を叱られてこう答えたそうです。

「ママ、ぼくが命令しなくつちや、だれも何もしないんだよ」。
まさしく、意志の強い子です。
気質がちがうために、家庭内で

子育てはやさしい仕事ではあります。しかし現代社会の風潮は、子どもを心身ともにすこやかに育てようとする親の必死の努力に水を差しているかのようです。無事に子どもを育てあげるには、ソロモン王の知恵とオリンピック選手になろうとする程の覚悟が必要です。ところが、はた目には子育てなど簡単に見えるようです。自信過剰の、特に新米の親たちを見ると、初めてゴルフを観戦したある人のことを思い出します。

「なんだ、わけもないことじやないか。あそこにおいてあるちつぽけな白い球を、フラッグの方向に打ちやいいんだろう?」

そう言つてティーアの前に足場を固め、クラブを振り上げて思いつき打ちましたが、小さい球は、左にコロコロ三メートルばかり転がつたというんです。

「もつと強く打てばいいんだ。

An illustration of a woman with dark hair tied back, wearing a purple top, playing a flute. A green musical note is floating near her. To her right, a man with glasses and a bow tie is playing a double bass. The background is white.

● 愛と厳しさのバランスをとる
趣味にセスナの操縦をしていた
友人がいます。ある時、基地にし
ていた田舎の飛行場を目指しました。
あいにく出発が遅れ、目的地に近
づいた時は日没
を過ぎて、
夕陽はすで
に山ぎわ
に沈み、
着陸体勢
をとった
とき、滑
走路には
もやがか
かつて視
界がきき
ませんでした。

い局面に対応できる「作戦」か
親にも必要です。そうでないと、
訳も分からぬ状態のまま試行錯
誤をくり返すばかりません。

●愛と厳しさのバランスをとる

An illustration at the bottom left shows a woman with short brown hair, wearing a purple top, playing a flute. To her right, a man with glasses and a black suit is playing a cello. There are green musical notes floating around them.

意志の強い子

ジェームス・ドブソン

確かにタイガーやウツズも、こんなふうに、えいっ

しかし力めば力むほど、ボールはラフに逃げていきました。

子育てはやさしい仕事ではあります。しかし現代社会の風潮は、

子どもを心身ともにすこやかに育てようとする親の必死の努力に水を差しているかのようです。無事に子どもを育てあげるには、ソロモン王の知恵とオリンピック選手になろうとする程の覚悟が必要です。ところが、はた目には子育てなど簡単に見えるようです。自信過剰の、特に新米の親たちを見ると、初めてゴルフを観戦したある人のこと

を思い出します。

「なんだ、わけもないことじやないか。あそこにおいてあるちつぽけな白い球を、フラッゲの方向に打ちやいいんだろう？」

そう言ってティーの前に足場を固め、クラブを振り上げて思いっきり打ちましたが、小さい球は、左にコロコロ三メートルばかり転がつたというんです。

「もつと強く打てばいいんだ。

子育ても、どこかこれに似ています。意志の強い子の親の行く手には、あちこちにバンカーが隠れています。次々やつてくる手ごわい局面に対応できる「作戦」が、親にも必要です。そうでないと、誤訳をくり返すほかありません。

●愛と厳しさのバランスをとる

趣味にセスナの操縦をしていた友人がいます。ある時、基地にしていた田舎の飛行場を目指しました。あいにく出発が遅れ、目的地に近づいた時は日没

を過ぎて、夕陽はすでに山ぎわに沈み、

着陸体勢をとったとき、滑

走路にはもやがかかつて視

界がききました。

おまけに飛行場には照明がなく、地上員もいません。上空を旋回して再度試みましたが、暗闇はいつそう深くなつてきました。困った友人は、闇の中を二時間もぐるぐると飛び続けました。燃料が尽きたら、それこそ一巻の終わりです。パニック状態になつていた時、奇跡が起きました。地上のだれかがエンジン音を聞きつけ、操縦士の苦境を知つたのです。この人は親切にも、車で滑走路を行き来して私の友人に着陸できる場所を教え、滑走路の端から車のビーム灯を照

機体を持つていけば大丈夫ですが少しでも右か左にそれたら一大事です。

※※※※※

子育ても同じではないでしようか私たち親にも、家族という飛行機をどちらに導いたらしいのかを示す明確な光の道筋が、どうしても必要です。

子育ての二つの原則をごく単純に言えば、愛ときびしさです。親がこれを正しく理解し実践すれば多少の間違いや欠点はあつたとしても、健全な親子関係が築けるで

